

関西支部2011

支部編集委員 勝田 知尚

関西支部委員会新役員について

関西支部では、去る4月28日に行われました支部委員会において、2011年6月より2013年5月までの任に当たります支部委員会新役員が決定しました。以下に新役員を紹介します。

支 部 長：福崎英一郎（大阪大学）
副支部長・企画委員長：近藤昭彦（神戸大学）
副支部長・企画副委員長：西村 顕（白鶴酒造(株)）
庶務幹事：岡澤敦司（大阪大学）
会計幹事：原田和生（大阪大学）
企画委員：松浦友亮（大阪大学）
支部編集委員：勝田知尚（神戸大学）
会計監査：田中俊雄（大阪市立大学）
 広常正人（大関(株)）
(敬称略。カッコ内は所属を示しています)

関西支部は、2011年6月現在で、正会員538名、学生会員183名、計721名の個人会員と19の団体会員、44の賛助会員から構成されています。当支部委員会は、支部会員間の交流を促すためばかりではなく、中高生や市民に向けた啓発活動や情報発信にも努め、様々な活動を企画・運営してまいりました。また、長年にわたって継続してきました「醱酵学懇話会」は、今年度中に第100回目を迎えます。新役員総勢9名は、この醱酵学懇話会を中心として支部活動を企画・運営し、関西支部のさらなる活性化につなげてまいります。本稿では、これまで行われてきました関西支部の活動についてご紹介いたします。

醱酵学懇話会

醱酵学懇話会は、関西支部において長年にわたって継続してきた行事です。この醱酵学懇話会は、年2回のペースで行われており、1961年に行われた第1回から数えて、8月5日開催分で第99回となります。醱酵学懇話会では、関西地区で酒造りを行っておられる各社、あるいはバイオテクノロジーに造詣の深い化学メーカー各社のご協力を賜り、講演会、工場見学、そして懇親会を執り行って

きました。最近では、第98回醱酵学懇話会が奈良市ならまちセンター、および清酒「春鹿」醸造元(株)今西清兵衛商店にて開催されました。その概要は以下の通りです。

第98回醱酵学懇話会（2010年11月26日）

奈良市ならまちセンターおよび(株)今西清兵衛商店にて開催
講演：2件

「菩提もと清酒の復活」

(奈良県工業技術センター) 松澤一幸

「奈良八重桜から分離した花酵母で造った爽やかな旨味の清酒」

(奈良女子大学) 岩口伸一

見学：(株)今西清兵衛商店

本会の詳細な報告は、本誌89巻1号48頁に掲載されています。醱酵学懇話会では、ざっくばらんな雰囲気のもとで、発酵技術を中心としつつ、参加者の幅広い好奇心にお応えすべく企画してまいりました。しかし、その開催に際しましては、本活動をご支援下さいました企業各社のご好誼なしでは考えられません。この場をお借りして深く御礼申し上げます。



清酒「春鹿」醸造元(株)今西清兵衛商店での工場見学風景

バイオテクノロジー実験講座「バイオってなんやろ？」

関西支部では、2002年度より中高生、父兄、教員を対象として、バイオテクノロジー実験講座「バイオってなんやろ？」を中学、高校の期末試験の終わる12月下旬ごろに開催してまいりました。この実験講座では、所要時間3時間程度の実験を行う「とことん実験コース」と、所要時間1時間程度の実験を複数選んで行う「いろいろ実験コース」を用意し、参加者が申込時にいずれか選択できるようにしています。また、サイエンスカフェ形式の講演（バイオカフェ）にも参加して、バイオテクノロジーに関する見聞を深めてもらえるようにしています。さらに、実験や講義に関する質問をアンケートで集

め、後日、講師からの回答をホームページに掲載して、理解と興味をさらに深められるような試みも行っていきます。最近では、昨年12月23日に大阪大学工学部にて開催いたしました。その概要は以下の通りです。

バイオってなんやろ？実験で学び対話で納得 バイオカフェ & ラボ2010 (2010年12月23日)

大阪大学工学部にて開催

実験：

とことん実験コース

参加者数：48名（うち6名引率者）

「パン酵母で風船を膨らまそう」

「発酵の源となったパン酵母の姿をとことん観察してみよう」

(大阪大学) 杉山峰崇, 小野比佐好

(関西大学) 片倉啓雄, 松村吉信

いろいろ実験コース

参加者数：78名（うち11名引率者）

「じゃまな不純物を取り除こう！」

(神戸大学) 勝田知尚

「固定化酵素でジュースからアルコールを作ろう！」

(関西大学) 山出和弘

「抗体を使って抗原タンパク質を見つけよう」

(京都工芸繊維大学) 熊田陽一

バイオカフェ：2件

「注射器いらず！皮膚にベタッと『貼るワクチン』」

(大阪大学) 中川晋作

「21世紀の新たな可能性をひらく微生物たち

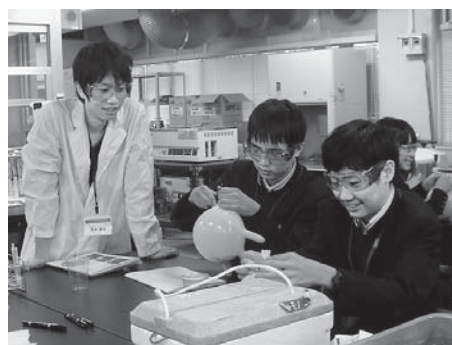
—ブドウ糖をエネルギーにした微生物電池」

(大阪市立大学) 東 雅之

参加者は大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県の中学、高校よりご参加いただきました。その内訳は、中学生55名、高校生54名、引率者17名で、中高生の男女比は、男子42%、女子58%でした。今回は開始時刻を13:00、終了時刻を16:50としたため、いろいろ実験では2件の実験を体験してもらうことにしました。当初、緊張の面持ちで解説を聞いていた参加者も、実験が始まり、大学生のTAより親しくやり方を教わって実験を進めるうちに、しだいに和やかな雰囲気となり、実験の面白さや不思議さを楽しんでいただけたように思います。また、アンケートでも真摯な質問が多く寄せられ、バイオテクノロジーに対する理解も深まったのではと思われる。将来、彼らの中から生物工学会に所属して活躍する方がでてくれば、運営スタッフ一同にとって最高の喜びです。なお、本実験講座は2010年度科学研究費（研究成果公開促進費）の援助を得て実施されました。



バイオってなんやろ？ 2011「バイオカフェ」風景



バイオってなんやろ？ 2011「とことん実験コース」実験風景



バイオってなんやろ？ 2011「いろいろ実験コース」実験風景

このほかにも、関西支部では小規模研究会および若手研究会への支援を行い、支部活動の活性化を図っています。昨年度の研究会支援事業に関する報告は本誌89巻3号136頁に掲載されています。

関西では、今年度は第100回醗酵学懇話会が、また来年度は神戸にて本部主催の90周年記念式典ならびに第64回年次大会が開催されるといったように、記念すべき行事が続いて開催されます。関西支部委員は丸一となってこれらに取り組んでまいりますので、皆さま、是非、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。